

9. 運営費交付金債務及び当期振替額等の明細

(1) 運営費交付金債務の増減の明細

(単位:円)

期首残高	交付金当期交付額	当期振替額				期末残高
		運営費交付金収益	資産見返運営費交付金	資本剰余金	小計	
0	1,440,780,000	1,410,921,723	9,688,277	0	1,420,610,000	20,170,000

(2) 運営費交付金債務の当期振替額及び主な用途の明細

①運営費交付金収益への振替額及び主な用途の明細

(単位:円)

セグメント	運営費交付金収益	運営費交付金の主な用途	
		費用	主な用途
業務達成基準による振替額			
審査事業	559,025,000	559,025,000	人件費:323,030,000円 事業費:144,588,000円 管理費:91,407,000円
安全対策事業	823,079,723	823,079,723	人件費:534,458,000円 事業費:173,526,723円 管理費:115,095,000円
期間進行基準による振替額	28,817,000	28,817,000	管理費:28,817,000円
費用進行基準による振替額	費用進行基準を採用した業務はない。		
合計	1,410,921,723	1,410,921,723	

②資産見返運営費交付金及び資本剰余金への振替額並びに主な用途の明細

(単位:円)

セグメント	資産見返運営費交付金への振替		資本剰余金への振替	
	振替額	主な用途	振替額	主な用途
審査事業	0		0	
安全対策事業	9,688,277	医薬品医療機器情報提供システム機材更新: 9,688,277円	0	
合計	9,688,277		0	

(3) 運営費交付金債務残高の明細

(単位:円)

運営費交付金債務残高	使用見込み
業務達成基準による振替額	20,170,000 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高と使用見込みは以下のとおりです。 安全対策事業のうち、医薬品副作用等報告受理収集業務については、システムのセキュリティ強化を目的とする仮想パッチシステムの納品が次年度となったことから、使用が見込まれる金額2,890,000円を繰り越します。 臨床研究安全性確保業務については、事業の根拠となる臨床研究法の成立が次年度となったことから、使用が見込まれる金額17,280,000円を繰り越します。 いずれも翌事業年度に使用する見込みです。
期間進行基準による振替額	0 翌事業年度への繰越額はない。
費用進行基準による振替額	0 翌事業年度への繰越額はない。
合計	20,170,000